

廃棄物資源循環学会 関西支部 主催

令和3年度 技術セミナー 開催案内

「メタネーション技術開発の最前線」  
—2050年カーボンニュートラルの実現に向けて—

わが国では2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会を実現することを宣言しました。そのためには、産官学が従来以上に連携し、技術開発の推進と社会への実装・実行が必要となります。将来の世代も安心して暮らせる脱炭素社会、持続可能な社会を現実のものとするために、カーボンリサイクルやCCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage）の技術確立は必要不可欠です。

その中でも、水素と二酸化炭素からメタンを合成するメタネーション技術はカーボンリサイクルの有望な技術の一つとして位置づけられています。

本セミナーでは、2名の講師をお招きし、カーボンリサイクルの現状及び今後の展開、メタネーションの最新技術についてご講演頂きます。産官学が一体となり取り組むべき本課題について、知見を深めたいと思います。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日時：令和3年12月15日（水）14：00～16：40

（13：40より受付を開始します）

場所：グランフロント大阪北館タワーC8階  
ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC  
RoomC05

+ Zoomを使ったライブ配信

定員：会場聴講 50人（申込先着順）

Zoom聴講 100人（申込先着順）

参加費：会員3,000円（学生会員は1,000円）、

非会員6,000円

[当日の資料配布はございません。]

事前に資料ダウンロードのご案内メールを送付致します]



JR大阪駅アトリウム広場より徒歩5分  
阪急電鉄大阪梅田駅より徒歩5分

プログラム：

14：00～14：05 開会挨拶

14：05～15：15 「産総研における低炭素社会実現を目指した

カーボンリサイクルプロセス開発について」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 グループ長 倉本 浩司 氏

（15：15～15：25休憩）

15：25～16：35 「SOECメタネーション技術革新による

都市ガスのカーボンニュートラル化への挑戦」

大阪ガス株式会社 エグゼクティブリサーチャー 大西 久男 氏

16：35～16：40 閉会挨拶

#### <お申込方法>

12月2日(木)までに、下記の要領でE-mailにてお申し込みください。

件名：令和3年度技術セミナー 参加希望

明記事項：①所属、②氏名、③住所、④E-mail アドレス、

⑤会員(会員番号)・学生会員(会員番号)・非会員の区分、

⑥会場聴講・Zoom聴講の区分

申込先(E-mail)：wseminar@gst.ritsumei.ac.jp

追って、受付番号をメールにてお知らせ致します。

#### <参加費のお振り込み方法>

12月3日(金)までに、下記口座に振り込みをお願い致します。

【銀行名】 ゆうちょ銀行 【店番】 018 【店名】 〇ー八(ゼロイチハチ)

【口座番号】 普通預金 7152040

【口座名義】 一般社団法人 廃棄物資源循環学会 シャ)ハイキブツシゲンジュンカンガックイ

※ 振り込み手数料は申込者各自でご負担願います。

※ お振り込みいただく際、振り込み人名義は「受付番号 参加者氏名」としてください。

※ 振り込み後のキャンセル、代金の返還はお受けできません。

振り込み確認後、領収書をメールにてお送り致します。

追って、資料ダウンロードの案内、当日の聴講用URL(Zoom聴講の方のみ)をメールにてお送り致します。

#### <Zoom 接続確認>

Zoom 接続を確認できる日時を下記の通り設けます。当日の接続に不安がある場合はご利用ください。

12月13日(月) 12:00 ~ 13:00

#### <当日の注意事項>

##### 会場聴講の方

- ・当日、体温が37.5℃以上の方は、ご来場をお控えください。
- ・会場では、マスク着用、手指のアルコール消毒にご協力をお願い致します。
- ・ご質問は、会場で挙手して頂き、司会から指名された後、ご所属とお名前の後に仰ってください。

##### Zoom 聴講の方

- ・セキュリティのため、接続時は「受付番号 氏名(所属機関)」での参加をお願い致します。
- ・サーバー負荷削減のため、ご自身のPCのカメラはOFFをお願い致します。
- ・講演聴講時は、ご自身のPCのマイクもOFFをお願い致します。
- ・ご質問は、チャットにて質問事項をご記入下さい。司会が、代読させて頂きます。

##### 共通事項

- ・講義の録音・録画や、講演データの複製・転用・販売などの二次利用は固くご遠慮願います。
- ・会場聴講+ライブ配信のハイブリッド形式のため、特に質疑応答時に音声面でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、温かく見守って頂ければと存じます。